

こんにちは

市長です

No. 4



水の恵み

地球は水の惑星です。最初に宇宙飛行士となったソビエト連邦のガガーリン少佐は「地球は青かった」という言葉で、地球が水の惑星であることを世界の人々の胸に刻み込みました。

水は不思議な物質であり、地球上の生命のために欠くことのできない物質です。

また、日本の平野は、ほとんどが水で運ばれた土砂で出来た沖積平野です。大洲盆地も肱川の運んできた土砂によって出来たものであり、同時に多くの栄養も運び込み、恵みの大地を作り上げています。

豊かな自然を形成する草や木も、水がなければ枯れてしまいます。動物も水がなければ生きていきません。人の体の60%程度が水分だと言われていますが、この水分量を維持するため

だけでなく、水に溶けたさまざまな栄養を吸収するために、一日に3リットルは水を飲む必要があると言われて

います。このように生命を維持するうえで貴重な水ですが、限りある資源であるという意識は希薄になりがちです。地球上の水は2週間程度という驚くほどの短い周期で、雨が川になり海へ至り、蒸発して雲と循環を繰り返しています。

このため、水は当たり前のように天から授かるもので、無限の資源のような錯覚を人は持っているのではないのでしょうか。

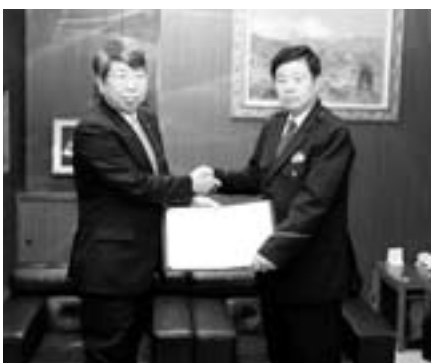
さて私たちは「汚い水」という言葉を、普段何気なく使っていますが、本当に水が汚いのでしょうか。実はほとんどの場合、人が自らの生活を便利にしようと、水にたくさんのものを

溶かし込み、本来溶け込んでいるはずの酸素が少なくなり、その結果、魚などの生き物が減り、バクテリアだけしか住めない、臭いのある水になってしまいます。しかしこの水も、水に溶け込んだものが分解されると、栄養豊かなきれいな水となります。ちなみに蒸留水は、水の中に何も含まれていないため、おいしくありません。体の中の水に比べて溶けているものが少くありません。スポーツドリンクは、体へ吸収しやすいように調整されているため、スポーツの最中や、高熱のときなどの水分やミネラル補給に最適です。地下水がおいしいのも、豊富なミネラルのためで、水の面白い側面だと思います。

水を汚くしているのは、私たちの生活を便利にすることが原因となっていることが多いものです。少し生活が不便になっても、水を汚さない、環境にやさしい生活に努めることが、21世紀の地球人としての心がけの一つだと思えます。

安全安心な生活を守るために

清水市長と永井大洲警察署長が「大規模災害時等における大洲市所有の施設の使用に関する協定書」と「大洲市物品購入等からの暴力団排除に関する合意書」を締結しました。



2月2日(水)、市役所で行われた調印式で、清水市長は「警察と市役所はともに市民の安全安心を守る重要な仕事をしている。組織は異なるが、同じ方向性を持って進んでいくべきであり、それぞれの立場で状況に応じて連携していきたい」とあいさつしました。それを受けて、永井大洲警察署長は「全国的にはゲリラ豪雨など災害が多発している。南海地震の危険性も高まっているとされるなか、地域の人々の安全を守るため、いざというときの活動拠点

の確保は重要な課題だった」と今回の協定書締結の重要性について話されました。この協定書が結ばれたことにより、大規模な災害などで大洲署庁舎が使用できなくなった際には、市役所2階大ホールを大洲署災害警備本部などの活動施設として使用することになります。

また、同時に「大洲市物品購入等からの暴力団排除に関する合意書」が締結されました。これは、大洲市が発注する物品の購入や修繕などの契約から、暴力団や暴力団員などの不当な介入を排除し、必要な措置を講じるための連絡協調体制を確立するためのものです。大洲市と大洲警察署は、これまで「建設業（通報制度含む）」や「指定管理者制度」など5件の暴力団排除に関する合意書を締結しており、今回の合意書の締結で暴力団排除に関するすべての合意書を締結しました。

旧末永邸・大洲城版画展



1月15日(土)、長浜地区にある旧末永家住宅の修復工事が完成し、記念式典が行われ、関係者約70人が出席しました。この記念式典で、清水市長は「歴史ある長浜の地からの情報発信の主要な拠点として活用していただきたい」とあいさつし、また地域を代表して長浜歴史遺産保存会の丸山壽一会長が「今後は長浜大橋や江湖の港など、他の文化財と連携して市民の文化の拠点として活用していきたい」と述べられました。

旧末永家住宅修復工事完成

愛称は『百帖浜屋敷』に決定

また、旧末永家住宅が、今後たくさんの人に親しまれるように愛称を募集したところ、県内外から99件の応募がありました。愛称選定委員会での選考の結果、港町として栄えた長浜をイメージさせる『浜屋敷』と、国登録有形文化財である『百帖座敷』の広さを連想させる『百帖』を結合させ、『百帖浜屋敷』に決定しました。最優秀賞に選ばれた上田正雄さんには、記念式典で清水市長から記念品が贈呈されました。

【最優秀賞】

「浜屋敷」の提案者

上田 正雄さん(長 浜)

【佳作】

「百帖」を含む愛称をつけていた提案者

弘中 和博さん(中 村)
田中 勇貴さん(西大洲)
黒川 節美さん
(兵庫県姫路市)



修復した末永家住宅は、左記のとおり開園していますので、ぜひ一度足をお運びください。

住 所

大洲市長浜甲309の2

開園時間

午前9時～午後5時

休園日

年末年始

(12月29日～1月3日)

入場料 無料

【問い合わせ先】

教育委員会生涯学習課
☎241735(直通)

木版画で描かれた色鮮やかな大洲市

独特の画風で描かれた牛鬼をモチーフにした木版画で有名な故兵頭俊朗氏(宇和島市出身)の作品を大洲城に展示します。

この展示は、「できるだけ多くの人に見てもらいたい。この作品を見て、ここに行きたいという気持ちになってくれれば嬉しい」という寄贈者のご意向により実現しました。今回展示される版画は、主に大洲城や長浜赤橋など市内の風



光明な観光スポットの作品14点です。

兵頭氏の視点を通して優しい色使いで描かれた版画の中では、普段見慣れている風景にもまた新しい発見があるかもしれません。とても心温まるほのほのした作品を、ぜひ一度ご覧になってください。

なお、兵頭氏の人気モチーフ牛鬼の作品など9点を、市役所庁舎内の廊下や階段に展示していますので、市役所にお立ち寄りの際に、こちらもぜひご覧ください。



【期 間】 2月下旬～9月末まで展示予定
【場 所】 大洲城 ☎24-1146

市内観光施設シリーズ企画 私たちが指定管理者です！

No. 8

【施設名】 大洲まちなか駅あさもや
【指定管理者】 ㈱おおず街なか再生館

観指の皆さまから
な指の皆さまから
ま指の皆さまから
ざ指の皆さまから
さ指の皆さまから
す指の皆さまから
大洲市では市内に点在するさまざまな観光施設のサービスを向上させました。指定管理者制度を導入してきました。このコーナーでは、施設と指定管理者を皆様から知っていただけるよう、指定管理者からの声をお届けしていきます！

着地型集客交流地域活性化事業を展開しているまちづくり会社です。



私たちは、集客交流による経済効果創出を目的として、大洲まちなか駅あさもやを運営しています。大洲特産品の販売だけでなく、大洲の観光サポーターとして、パンフレット作成・川まつり花火大会プロデュースなどの制作部門や、お客様の旅のお手伝いをする観光部門にも力を入れています。施設には「案内人」が常駐しており、いつでもみなさんの「感動の田舎旅」をお手伝いします。

また、最近話題の「大洲歴史探訪館」には、ここでしか見られない『いろは丸』と、大洲藩に関する貴重な史料を展示しており、大洲に住んでいるけれどゆっくり町を歩いたことのない人にもぜひ、お越しいただきたいです。

Yahoo!ショッピング「あさもや」も営業中♪大洲特産品や、季節限定のあさもやオリジナル商品など、インターネットでご注文いただけます。ご注文は左記URLからどうぞ。

携帯でアクセス↓



所在地
大洲市大洲649の1
☎07011
<http://www.asamoya.com/>



指定管理者からの 耳より情報

城下町の歴史、庶民の文化、そして伝統が息づく三大和菓子、「月窓餅」・「志ぐれ」・「残月」を中心に、大洲の特産品やあさもやオリジナルスイーツなどが勢揃い！
毎月第3土曜・日曜日はあさもや感謝祭開催中！
また、案内人と巡る町並散策やひじかわ遊覧、鵜飼いも大人気です。

「鯉のぼり」 大募集!!

大川鯉のぼり川渡し実行委員会では、毎年4月下旬から5月上旬ごろまでの間、子どもたちの健やかな成長を願って、肱川（大成橋上流）に約110匹の鯉のぼりを泳がせる「鯉のぼりの川渡し」事業を実施しています。

平成23年度は、さらにワイヤーを1本増やして、2本（約200匹）の川渡しを行うことになりました。

そこで実行委員会では、無償でお願いいただける鯉のぼり（鯉のぼり、吹流し、のぼり）を4月15日ごろまで募集しています。ご家庭で眠っている鯉のぼりをもう一度、大空に泳が

せてみませんか？市民のみなさんからの温かいご寄付をお願いいたします。寄付いただいた鯉のぼりは、大切に使用させていただきます。なお、返却はできませんので、あらかじめご了承ください。みなさんの善意を、心よりお待ちしております。

【問い合わせ先】
大川公民館
大洲市森山甲437の1
☎070200



火災時の初期消火に 活用します

平成22年度電源立地地域対策交付金事業により消防設備『小型動力ポンプ3台』を整備し、肱川方面隊中央分団、正山分団、岩谷分団の小型動力ポンプ一式を更新しました。



電源立地地域対策交付金とは？

大洲市肱川町にある3か所の水力発電用施設（惣川発電所・横林発電所・肱川発電所）の周辺地域における公共用施設の整備などを促進することにより、地域住民の福祉の向上、発電用施設の設置および運転の円滑化に役立てることを目的としています。

【問い合わせ先】

肱川支所総務課 ☎34-2311（内線212）



▲展示されたエビネ



【場所】
おおず赤煉瓦館本館2階

【入場料】 無料

【問い合わせ先】
おおず赤煉瓦館

☎24-1281

【期間】
4月1日（金）～
4月10日（日）

色の変異が大きく、鉢ごとにさまざまな色の花が咲き誇ります。

今回は、日本エビネ園（長浜町須沢）で一足早く花を咲かせた200鉢が出品されます。色とりどりの清楚な花々をお楽しみください。また、昨年好評だった「野点」に続いて今年も教会を再現した造り物が登場します。花のバージョンアップがエビネの美しさをひきたて、会場の雰囲気盛り上げます。ぜひお楽しみください。

防火・防災講座などに 活用します

平成22年度財団法人日本防火協会の助成金により「防火防災普及啓発用の視聴覚資器材」を整備しました。

財団法人日本防火協会では、宝くじの普及広報事業の一環として、民間防火組織などの育成強化を図るための助成を行っています。

財団法人日本防火協会 助成事業



大洲市ではこの助成事業を利用して防火・防災の意識高揚を図り、災害に強い人づくり、まちづくりに役立てるため、プロジェクターやデジタルビデオカメラなどの視聴覚資器材を購入しました。

今後は、出前講座や講習会、防災訓練などに活用し、より一層防火・防災の普及活動に努めていきます。

【問い合わせ先】

危機管理課防災係 ☎24-2111（内線352）



おおず赤煉瓦館誕生110周年を記念して、企画展「エビネの里の花紀行」を開きます。

エビネとは、日本原産のラン科に属する植物で、花



▲昨年好評だった「野点」